

G1 Lock 操作マニュアル



目次

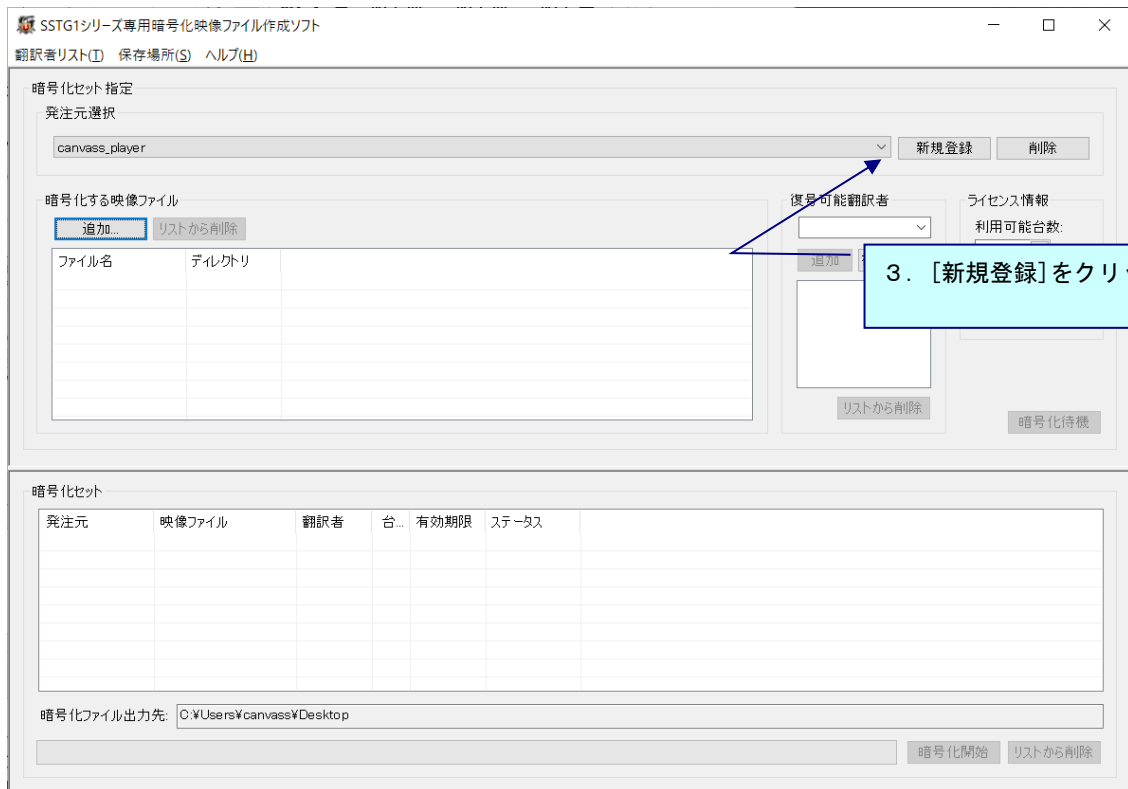
初期設定	3
《発注元を登録する》	3
《翻訳者リストを新規作成する》	4
《翻訳者を登録する（直接入力で登録）》	4
《翻訳者を登録する（インポートで登録）》	6
映像ファイルを暗号化する	7
[翻訳者リスト]メニュー	11
《編集》	11
《インポート》	12
《エクスポート》	12
[保存場所]メニュー	13
《暗号化ファイル》	13
《翻訳者リスト》	13
ログファイル	14

初期設定

インストール後、暗号化を行う前に必ず初期設定を行ってください。

《発注元を登録する》

1. カンバスから提供された cti ファイルとパスワードを用意します。
2. G1_Lock を起動します。



4. 1 で用意した cti ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
5. cti ファイルのパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
6. 「発注元選択」のプルダウンに発注元が表示されます。

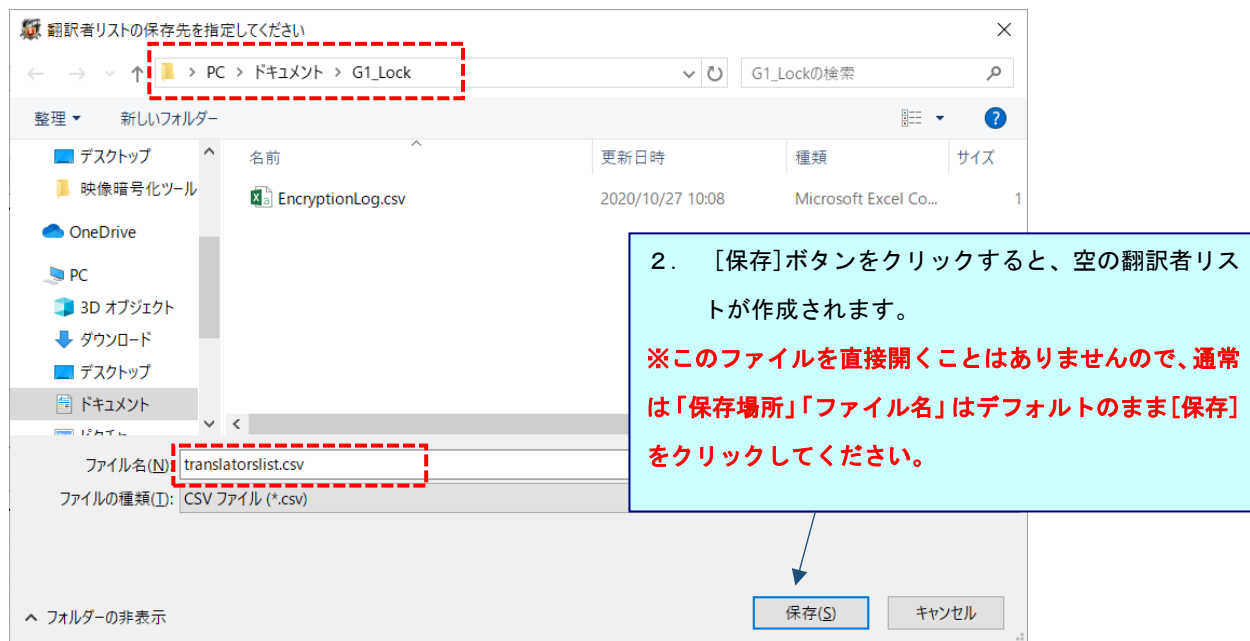
※G1_Lock 起動中は cti ファイルに常時アクセスしています。ファイル名を変更したり、保存場所を移動しないようにしてください。

※cti ファイルとパスワードは本ソフトの契約時にカンバスから提供されます。

※複数のクライアントから暗号化業務の発注を受ける場合、それぞれのクライアントから cti ファイルとパスワードを受領し、登録してください。

《翻訳者リストを新規作成する》

1. [保存場所]－[翻訳者リスト]を開きます。



《翻訳者を登録する（直接入力で登録）》

1. [翻訳者リスト]－[編集]で翻訳者リスト画面を開きます。



3. 翻訳者情報を入力します。

次の翻訳者を続けて登録する場合は、「連続登録」にチェックを入れてください。

4. 入力が完了したら[OK]（連続登録オンの場合は[登録]）をクリックします。
（連続登録の場合、続けて翻訳者情報を新規登録できません）

【氏名】：必須入力。同一の氏名は登録できません。同姓同名の翻訳者の場合、「鈴木太郎（東京）」「鈴木太郎（千葉）」など、区別できるように登録してください。

【ふりがな】：任意入力。ひらがなのみ入力可能です。

【ユーザーID】：必須入力。同一のIDは登録できません。半角英数字のみ使用可能です。
ユーザーIDは翻訳者から申告してもらってください。

【コメント】：任意入力。

※初期設定にて翻訳者リストを新規作成していなかった場合、翻訳者登録画面で最初に[OK]（連続登録オンの場合は[登録]）をクリックすると、下図の画面が開きます。

[保存]ボタンをクリックすると、空の翻訳者リストが作成されます。

※このファイルを直接開くことはありませんので、通常は「保存場所」「ファイル名」はデフォルトのまま[保存]をクリックしてください。

5. 翻訳者が登録されます。

「連続登録」をオンにしていた場合、続けて翻訳者を登録することが可能です。

《翻訳者を登録する（インポートで登録）》

1. 翻訳者のデータを カンマ区切りの csv ファイル で用意します。

一行目の左から順に、名前・ふりがな(任意)・ユーザーID・コメント(任意)を入れてください。

翻訳者リスト(例)

	名前	ふりがな(任意)	ユーザーID	コメント(任意)
	A	B	C	D
1	鈴木一郎	すずきいちろう	suzuki001	
2	鈴木次郎	すずきじろう	suzuki002	
3				
4				

※Excel で開いた場合

※一行目に項目名などのヘッダーは入れないでください。

[氏名]：必須入力。同一の氏名は登録できません。同姓同名の翻訳者の場合、「鈴木太郎（東京）」「鈴木太郎（千葉）」など、区別できるように登録してください。

[ふりがな]：任意入力。ひらがなのみ入力可能です。

[ユーザーID]：必須入力。同一の ID は登録できません。半角英数字のみ使用可能です。
ユーザーID は翻訳者から申告してもらってください。

[コメント]：任意入力。

2. G1_Lock を起動し、[翻訳者リスト]－[インポート]を選択します。

※初期設定にて翻訳者リストを新規作成していなかった場合、ここで翻訳者リストの保存先とファイル名を指定する画面が開きます。

保存先とファイル名は、通常はデフォルトのまま変更せず、[保存]をクリックしてください。

3. 1 で用意した csv ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

4. インポートが完了します。

※エラーがあった場合、[ドキュメント]－[G1_Lock]フォルダ内の

「translators.log」にエラー内容が出力されますのでご確認ください。

⚠️ ご注意ください！

SSTG1Pro のネット認証不要版（チケット購入不要タイプ）のユーザーを登録するには、ユーザー側でのドングル更新が必要になります。**登録したい翻訳者が SSTG1Pro ユーザーの場合は、事前にキャンバスにご連絡ください。**ドングル更新が必要な場合は手順をご案内いたします。

映像ファイルを暗号化する

1. 発注元を確認します。
発注元が複数登録されている場合は正しいものを選択します。

2. [追加]をクリックし、暗号化したい映像ファイルを選択します。

ファイル名	ディレクトリ

暗号化セット					
発注元	映像ファイル	翻訳者	台数	有効期限	ステータス

暗号化ファイル出力先: C:\Users\canvass\Desktop

※ここで映像ファイルを複数選択すると、それらすべてに対し、この後指定する「復号可能翻訳者」
「ライセンス情報」が適用されます。

※「暗号化セット」にすでに同一の映像がセットされている場合、再度同じ映像を追加することは
できません。一度暗号化を実行してから再度選び直してください。

※SSTG1 シリーズで対応している形式以外の映像ファイルを暗号化しても、SSTG1 シリーズでは開け
ません。

※本ソフトで暗号化した映像ファイルは選択しないでください。二重に暗号化した映像ファイルは、
指定された翻訳者でも開くことができません。

※暗号化後に 4GB を超えるファイルは暗号化できません。

復号可能翻訳者

ライセンス情報

利用可能台数: 1

有効期限: 2020/07/24

追加 複数選択

リストから削除

暗号化待機

3. 復号可能翻訳者（映像ファイルを開くことを許可する翻訳者）をプルダウンから選択します。
ここに直接文字を入力すると、候補者の頭出しができます。

翻訳者を複数人まとめて選択する場合は「複数選択」をクリックします。（次ページ参照）

4. 「追加」をクリックします。

復号可能翻訳者

ライセンス情報

利用可能台数: 1

有効期限: 2020/07/24

追加 複数選択...

小林太郎

リストから削除

暗号化待機

選択した翻訳者名が下段リストに追加されます。

追加した翻訳者を取り消す

一度追加した翻訳者を取り消す場合は、取り消したい翻訳者を選択（ctrl+クリックで複数選択可）して「リストから削除」をクリックします。

復号可能翻訳者

ライセンス情報

利用可能台数: 1

有効期限: 2020/07/25

追加 複数選択...

小林太郎
大隈 重信
カンバス次郎

リストから削除

暗号化待機



復号可能翻訳者

ライセンス情報

利用可能台数: 1

有効期限: 2020/07/25

追加 複数選択...

小林太郎
カンバス次郎

リストから削除

暗号化待機

復号可能翻訳者 複数選択画面

翻訳者リスト

検索 佐藤 1 / 3

氏名	ふりがな	ユーザーID	コメント
<input type="checkbox"/> 清浦 奎吾	きよaura (けいご	kiyoumkeig	
<input type="checkbox"/> 西園寺 公望	さいおんじ きんもち	saionziki	
<input checked="" type="checkbox"/> 大隈 重信	おおくま しげのぶ	ookumasig	
<input type="checkbox"/> 東條 英機	とうじょう ひでき	touzyouhid	
<input type="checkbox"/> 幣原 喜重郎	しではら きじゅうろう	sidehara	
<input type="checkbox"/> 片山 哲	かたやま てつ	katayama	
<input type="checkbox"/> 林 銑十郎	はやし せんじゅうろう	hayashisen	
<input type="checkbox"/> 佐藤剛	さとうつよし	satoutuyos	
<input checked="" type="checkbox"/> 佐藤健	さとうけん	satouken	
<input checked="" type="checkbox"/> カンパス次郎	かんばすじろう	canvass02	
<input type="checkbox"/> カンパス三郎	かんばすさぶろう	canvassaburou	テスト2020/7/...
<input type="checkbox"/> 佐藤健一	さとうけんいち	kenichi	

検索ワードを入力し [検索] をクリックすると
ヒットした行が黄色（現在位置はオレンジ）に
ハイライトされます。
↓ ↑ : 次(前)のヒット個所に移動
× : 検索結果をクリア

復号可能翻訳者にチェックを入れ
[OK]をクリックします。

OK キャンセル

復号可能翻訳者

追加 複数選択...

大隈 重信
カンパス次郎

リストから削除

暗号化待機

ライセンス情報

利用可能台数: 1

有効期限: 2020/07/24

チェックした翻訳者が
すべて選択されます。

復号可能翻訳者

追加 複数選択...

カンパス太郎
カンパス次郎

リストから削除

暗号化待機

ライセンス情報

利用可能台数: 1

有効期限: 2020/07/13

5. 利用可能台数、有効期限を選択します。
利用可能台数: 一人の翻訳者が映像ファイルを開けるPCの台数
有効期限: 映像ファイルを開ける期限
指定した日の24時を過ぎると開けなくなります。

6. [暗号化待機]をクリックします。

リストから削除

7. 画面下部「暗号化セット」に
暗号化するファイルが追加されます。

発注元	映像ファイル	翻訳者	台数	有効期限	ステータス
canvass_player	23976テストファイル.mpg	カンバス太郎	1	2020/07/13	未処理
canvass_player	23976テストファイル.mpg	カンバス次郎	1	2020/07/13	未処理

暗号化ファイル出力先: C:\Users\canvass\Desktop

暗号化開始 リストから削除

—— バッチ処理の場合（複数の映像ファイルをまとめて暗号化する） ——

⇒手順2～7を繰り返し、「暗号化セット」に映像ファイルを追加してください。
 ※すでに暗号化セットで指定されている映像ファイルを重複して追加することはできません。
 一度暗号化を行ってから再度選択しなおしてください。

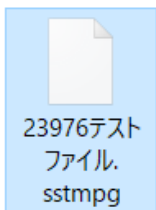
発注元	映像ファイル	翻訳者	台数	有効期限	ステータス
canvass_player	23976テストファイル.mpg	カンバス太郎	1	2020/07/13	未処理
canvass_player	23976テストファイル.mpg	カンバス次郎	1	2020/07/13	未処理

暗号化ファイル出力先: C:\Users\canvass\Desktop

暗号化開始 リストから削除

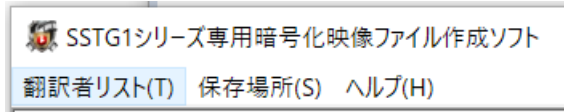
8. 暗号化する映像がすべて「暗号化セット」に入ったら、暗号化ファイルの出力先を確認し、[暗号化開始]をクリックします。
 出力先の変更は
 [保存場所]メニューの[暗号化ファイル]より行ってください。

9. 指定した箇所に暗号化された映像ファイルが作成されます。



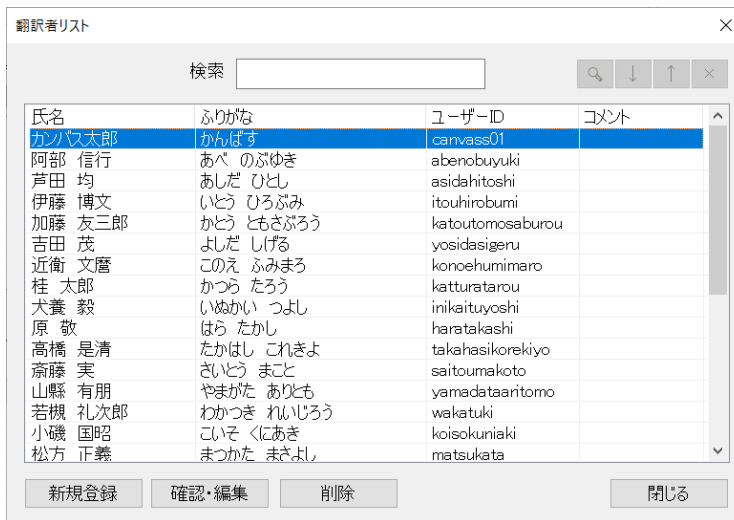
- ・暗号化された映像ファイルは←のように白抜きアイコンになります。
- ・暗号化された映像ファイルは SSTG1 シリーズ以外では開けません。
- ・暗号化された映像ファイルの拡張子は、元の拡張子の前に「sst」が付いたものになります。
 例) .mpg→.sstmpg

[翻訳者リスト]メニュー



《編集》

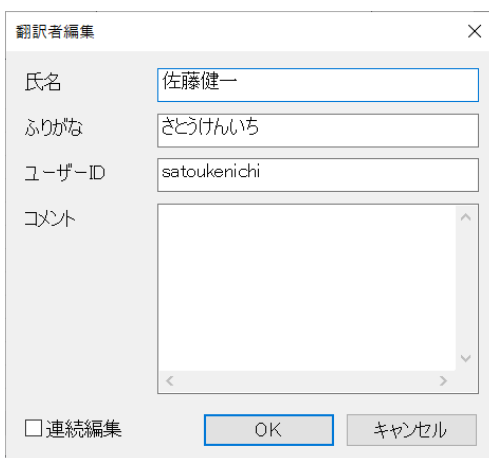
[翻訳者リスト] - [編集]を開きます。



[検索]：検索ワードを入力し をクリックするとヒットした行が黄色（現在位置はオレンジ）でハイライトされます。 でヒット個所を移動し、 で検索結果をクリアします。

[新規登録]：翻訳者を新規登録します。詳細は《翻訳者を登録する（直接入力で登録）》を参照してください。

[確認・編集]：選択中の翻訳者の編集画面が開きます。



内容を編集して[OK]をクリックすると、編集した内容で更新されます。

「連続編集」にチェックを入れると[OK]ボタンが[更新]に変わります。内容を編集して[更新]をクリックすると、更新後に次の行の翻訳者情報が表示され、連続して翻訳者情報を編集することができます。

[削除]：選択中の翻訳者を削除します。

《インポート》

csv ファイル形式で用意した翻訳者のデータを読み込みます。

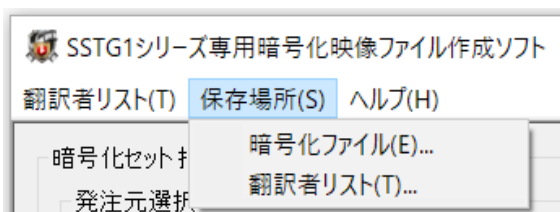
1. 翻訳者のリストを カンマ区切りの csv ファイル で用意します。
※csv ファイルの詳細は《翻訳者を登録する（インポートで登録）》
6) を参照ください。
2. [翻訳者リスト]–[インポート]を選択します。
3. 1 で用意した csv ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
4. インポートが完了します。
※エラーがあった場合、[ドキュメント]フォルダー–[G1_Lock]内の「translators.log」に
エラー内容が出力されるのでご確認ください。

《エクスポート》

翻訳者リストを csv ファイル形式で出力します。

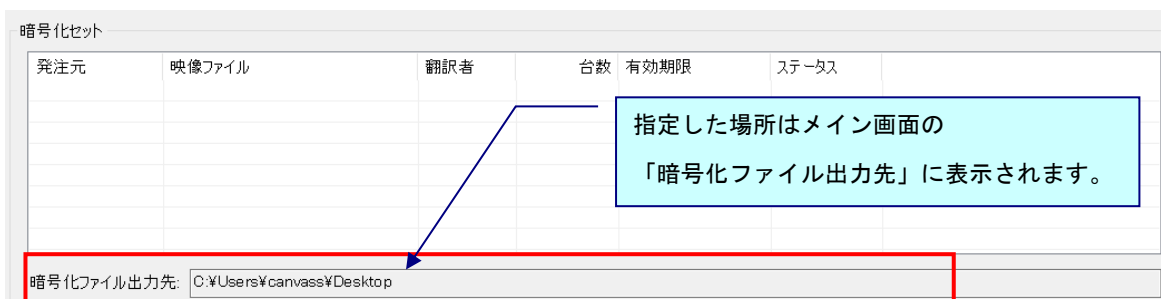
1. [翻訳者リスト]–[エクスポート]を開きます。
2. 出力先、出力するファイル名を指定して、[保存]をクリックします。
3. 出力したファイルは csv 形式（カンマ区切り）なので、Excel やテキストエディタで編集可能です。

[保存場所]メニュー



《暗号化ファイル》

暗号化した映像ファイルの出力先を指定します。



《翻訳者リスト》

翻訳者リストの保存場所を指定するメニューです。

原則、翻訳者リストの保存場所は初回に指定した場所から変更しないことをお勧めします。

※既存の csv ファイルを指定すると翻訳者リストの内容に上書きされてしまうため、選択しないようにしてください。

※通常、翻訳者リストの csv ファイルを直接開くことはありません。

ログファイル

映像を暗号化すると、履歴情報が[ドキュメント]-[G1_Lock]フォルダの「EncryptionLog.csv」に記録されます。

※Excel で開いた場合

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	暗号化実行日時	発注元	出力ファイル名	翻訳者	ユーザーID	台数	有効期限	出力先フルパス	
2	2020/6/30 19:19	canvass_player	CodeS(プロジェクト_1)大隈 重信	ookumasig	1	2020/7/1	C:\Users\canvass\I		
3	2020/6/30 19:19	canvass_player	CodeS(プロジェクト_1)桂 太郎	katturatan	1	2020/7/1	C:\Users\canvass\I		
4	2020/6/30 19:19	canvass_player	CodeS(プロジェクト_1)佐藤剛	satoutuyok	1	2020/7/1	C:\Users\canvass\I		
5	2020/6/30 19:19	canvass_player	CodeS(プロジェクト_1)佐藤健	satouken	1	2020/7/1	C:\Users\canvass\I		

【記録される内容】

- 暗号化実行日時
- 発注元・・・cti ファイル名
- 出力ファイル名・・・暗号化されたファイルのファイル名
- 翻訳者・・・復号可能翻訳者の名前
- ユーザーID・・・復号可能翻訳者のユーザーID
- 台数・・・利用可能台数
- 有効期限・・・復号化の有効期限
- 出力先フルパス・・・暗号化された映像ファイルの保存場所

※「EncryptionLog.csv」が1 MB を超えると別ファイルが作成されます。ファイルは5 つまで作成されますが、これを超えるとローテーションし、前のファイルに上書きされます。

暗号化の記録を保管しておきたい場合は、別のフォルダに退避させてください。